

平成三十年四月

神 示

人は皆^{人間} 神の手の中 世^{社会}に役立つ力を与えられて 誕生している
なれど 神の實在に気付かず 知識を絶対と思い 生きている
ここに 努力が生かせず

「道」欠き 外す社会を 自ら生み出し 悩みを深める
今日^{今日}のままでは 悪^あしき実体が世^{社会}にはびこり

時代の力^{運命}にのみ込まれ 悔いを残して人生を閉じる

信者に申す

—— 多くの運命が重なり 補い合って 時代を育む姿に

極楽がある——

この真実「真理」を知って

神が使者を通し 世^{社会}に示す「教え」を

人生の支えに生きる努力が必要

「教え」が 人^{人間}の心を「正道」へと導く

そこに 多くの運命が重なり合って

万人 万物が生かされる社会が実現してゆく

教えは「真理」

人^{人間}として悔いなき人生手にするために

「教え」を学び 心^{実体}に生かす努力を欠いてはならない